

令和４年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立大阪城音楽堂
施設所管課・担当	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当
条例上の設置目的	市民の情操教育及びレクリエーション運動の普及向上を図るため、音楽の演奏その他の行事を行うことを目的とする。
業務の概要	大阪城音楽堂の管理運営 大阪城音楽堂の利用案内・受付、要望・苦情対応、音楽堂内施設管理、関係機関等との各種連絡調整等、音楽堂の貸出に関する業務を実施
成果指標	年間利用件数
数値目標	年間利用件数100件以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体 構成員：大阪城パークマネジメント株式会社 株式会社電通 関西支社 読賣テレビ放送株式会社 大和ハウス工業株式会社 大阪本店 大和リース株式会社 株式会社NTTファシリティーズ
指定期間	平成27年4月1日～令和17年3月31日
評価対象期間	令和４年４月１日～令和５年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	年間利用件数	
数値目標	100	
年度実績	138	
達成率	138.0%	

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	90,882	50,636	40,246
稼働率	42.5%	33.0%	9.5%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	0	13,957,463	0	新型コロナウイルス感染症の影響低減にともなう大阪市からの損失補償の取り止め
	計画	0	－		
利用料金収入	実績	59,389,254	40,192,103	14,081,254	新型コロナウイルス感染症の影響低減にともない利用者の増加
	計画	45,308,000	34,590,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	4,350,000	－	4,350,000	大阪城音楽堂フェスティバル協賛金収入 請負売上（夢祭）
	計画	0	－		
営業外収益	実績	0	679,938	0	雇用調整助成金等収入
	計画	0	－		
合計	実績	63,739,254	54,829,504	18,431,254	
	計画	45,308,000	34,590,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	18,604,114	18,168,084	-235,886	
	計画	18,840,000	15,600,000		
物件費	実績	36,251,960	42,598,720	-8,573,040	昨年度は計画に対して緊急で工事費が必要になったため、計画額を昨年実績額相当にしたが、工事の必要がなくなったため
	計画	44,825,000	36,261,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	4,350,000	－	4,350,000	大阪城音楽堂フェスティバル、請負費用（夢祭）
	計画	0	－		
営業外費用	実績	0	708	0	雇用調整助成金等収入
	計画	0	－		
合計	実績	59,206,074	60,767,512	-4,458,926	
	計画	63,665,000	51,861,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用件数100件以上	138.0%	S	音楽イベント大幅再開の機運と、屋外で換気の良い会場である事も手伝って、前年度だけでなくコロナ前の平成30年度と比べても利用率、売上げ共に大きく超える月が続いた。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
新型コロナウイルス感染症の規制緩和に伴い、収入が計画を大幅に上回ったことにより、当初予定していた損失補填を取り止めた。	B	当初予算 13,639,000円

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	施設の管理運営状況について、本市が求める水準に従って維持管理できていた。平等利用の確保、職員の体制危機管理・安全管理業務等についても本市が求める管理水準に達していた。
事業計画の実施状況	B	昨年度より利用人数、稼働率が上昇した事により、利用料金収入が計画額を大幅に増加した。増加は、前年度だけでなくコロナ前の平成30年度と比べても大きく超過した。本市主催のたそがれコンサートの開催日を金曜日から水曜日に調整変更し、週末の音楽堂利用促進に繋がったことが要因と考えられる。
施設の有効利用	B	大阪城公園全体を指定管理として運営していることから、他施設とも連携し、施設の有効利用に取り組んだ。
社会的責任・市の施策との整合性	B	職員の人権研修の実施や個人情報その他の文書を適切に管理等計画どおり達成するなど、一定評価できる。

5 利用者ニーズ・満足度等

R4年度については、満足度調査を行ったが、極めて少ない回答数であった。今年度については、回答を増やす工夫を行う。
--

6 外部専門家意見

コロナ禍の影響が残る年度であったが、各種事業展開や工夫により収支は改善しており、一定の評価ができる。今後、万博開催を控え、インバウンドを中心とした来園者数の増が見込まれるなか、オーバーツーリズム等の課題を見据え、DXの活用など具体的な対策により、大阪城公園の魅力向上やサービス向上に努めていただきたい。 音楽堂として、利用者ニーズ、満足度の調査ができていないのは問題。アンケートを回収する努力が必要。調査を行うことで、施設の改善方法を検討する根拠になる。古い施設なので、施設の改修も必要ではないか。設備を良くすることで利用者の満足度を上げる努力をしてもらいたい。利用人数、稼働率ともに上昇し、収支が黒字に転換したのは評価してよい。
--

令和 4 年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		S	音楽イベント大幅再開の機運と、屋外で換気の良い会場である事も手伝って、前年度だけでなくコロナ前の平成30年度と比べても利用率、売上げ共に大きく超える月が続いたのは成果と言える。
市費の縮減		B	収入が計画を大幅に上回ったことにより、当初予定していた損失補填を取り止めた事は良かった。
管理運営の履行状況	施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B +	全項目おおむね事業計画に沿った事業実施が図られている。施設の管理運営状況について、本市が求める水準に従って維持管理できていた。事業計画の実施状況は、利用人数、稼働率が上昇した事により、利用料金収入が計画額を大幅に増加したことは評価できる。施設の有効活用 の面では、他施設との連携を今後も継続し、一体で利用してもらえるように努められるとよい。
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
	社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価		A	成果指標を大幅に超過し、これまで赤字だった施設が、企業努力もあり黒字に転換したのは評価に値する。今後は利用者ニーズ、満足度調査を実施し、更なる努力を期待したい。